

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【公表番号】特表2013-536861(P2013-536861A)

【公表日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-052

【出願番号】特願2013-527273(P2013-527273)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/89	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/25	(2006.01)
A 6 1 K	8/27	(2006.01)
A 6 1 K	8/29	(2006.01)
A 6 1 K	8/26	(2006.01)
A 6 1 Q	1/14	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/89
A 6 1 Q	1/00
A 6 1 K	8/25
A 6 1 K	8/27
A 6 1 K	8/29
A 6 1 K	8/26
A 6 1 Q	1/14
A 6 1 K	8/34

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月18日(2014.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚に塗布するための身体補正用配合物であって、

a) 反応性補強成分；および

b) 架橋成分；

を含み、

架橋成分は、in situで反応性補強成分の架橋を促進し、その結果、身体補正皮膜が皮膚に形成され、皮膜は、自然な皮膚の外観となる、前記配合物。

【請求項2】

身体補正用配合物が、しわ補正用配合物、皮膚整形用配合物または硬さ付与用配合物である、請求項1に記載の配合物。

【請求項3】

整形される皮膚が目周辺の皮膚である、請求項2に記載の配合物。

【請求項4】

反応性補強成分(a)が、(i)少なくとも1種のオルガノポリシロキサンおよび少なくとも1種のヒドリド官能化ポリシロキサンを含む反応性要素ならびに(ii)補強要素を

含み、ここで該オルガノポリシロキサンは、高粘度のオルガノポリシロキサンまたは低粘度のオルガノポリシロキサンあるいはその組み合わせであり、該補強要素が25にて約50000～約700000cStまたはcPの粘度を有する、請求項1～3のいずれか1項に記載の配合物。

## 【請求項5】

反応性補強成分および架橋成分が使用前に互いに反応することを防止されている、請求項4に記載の配合物。

## 【請求項6】

高粘度のオルガノポリシロキサンが25にて約100000～約500000cStまたはcPの粘度を有する、請求項4に記載の配合物。

## 【請求項 7】

高粘度のオルガノポリシロキサンがビニル末端化されており、好ましくはビニル末端ポリジメチルシロキサンである、請求項4に記載の配合物。

## 【請求項8】

高粘度のオルガノポリシロキサンが約0.05～約0.1重量%のビニル、または約0.001～約0.05当量/kgのビニル、あるいは両方の組み合わせを有する、請求項4に記載の配合物。

### 【請求項 9】

低粘度のオルガノポリシロキサンが25にて約1000～約50000cStまたはcPの粘度を有する、請求項4に記載の配合物。

### 【請求項 10】

低粘度のオルガノポリシロキサンが約0.01～約0.5重量%のビニル、または約0.001～約0.1当量/kgのビニル、あるいは両方の組み合わせを有する、請求項4に記載の配合物。

### 【請求項 11】

低粘度のオルガノポリシロキサンがビニル末端化されており、好ましくはビニル末端ポリジメチルシロキサンである、請求項4に記載の配合物。

## 【請求項 1 2】

ヒドリド官能化ポリシロキサンが 25 にて約 2 ~ 約 10000 cSt または cP の粘度を有する、請求項 4 に記載の配合物。

### 【請求項 1 3】

ヒドリド官能化ポリシロキサンが、約 5 ~ 約 75 % の SiH 量、または約 0.5 ~ 約 10 mmol/g の SiH 量、あるいは両方の組み合わせを有する、請求項 4 に記載の化合物。

### 【請求項 1 4】

ヒドリド官能化ポリシロキサンがアルキル末端化されており、好ましくはトリメチルシリキシ末端メチルヒドロシロキサン - ジメチルシリキサンコポリマーである、請求項 4 に記載の配合物。

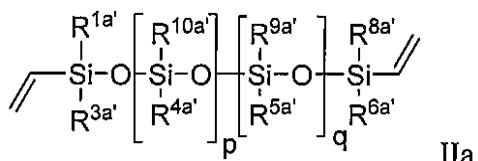
### 【請求項 15】

ヒドリド官能化ポリシリコサンが少なくとも 2 個の Si - H 単位を有する、請求項 4 に記載の配合物。

### 【請求項 16】

オルガノポリシロキサンが、式 I I a のポリマー：

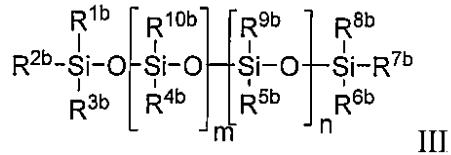
【化 1】



(式中、 $R_1$  a'、 $R_3$  a'、 $R_4$  a'、 $R_5$  a'、 $R_6$  a'、 $R_8$  a'、 $R_9$  a'、 $a_1$  a'、

び  $R^{10a}$  は、それぞれ独立して、 $C_{1-20}$  アルキル、 $C_{2-20}$  アルケニル、 $C_{5-10}$  アリール、ヒドロキシルまたは $C_{1-20}$  アルコキシルであり、 $p$  および  $q$  は、それぞれ独立して、10 ~ 6000 の整数である)  
であり、且つ、ヒドリド官能化ポリシロキサンが、式 I I I のポリマー：

## 【化 2】



(式中、 $R^{1b}$ 、 $R^{2b}$ 、 $R^{3b}$ 、 $R^{6b}$ 、 $R^{7b}$  および  $R^{8b}$  は、 $C_{1-20}$  アルキル、 $C_{2-20}$  アルケニル、 $C_{5-10}$  アリール、ヒドロキシルまたは $C_{1-20}$  アルコキシであり、

$R^{4b}$ 、 $R^{5b}$ 、 $R^{9b}$  および  $R^{10b}$  は、それぞれ独立して、水素、 $C_{1-20}$  アルキル、 $C_{2-20}$  アルケニル、 $C_{5-10}$  アリール、ヒドロキシルまたは $C_{1-20}$  アルコキシから選択され、ここで  $R^{4b}$ 、 $R^{5b}$ 、 $R^{9b}$  および  $R^{10b}$  の少なくとも 2 つは水素であり、

$m$  および  $n$  は、それぞれ独立して、10 ~ 6000 の整数である)

である、請求項 4 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の配合物。

## 【請求項 17】

$R^{1a}$ 、 $R^{3a}$ 、 $R^{4a}$ 、 $R^{5a}$ 、 $R^{6a}$ 、 $R^{8a}$ 、 $R^{9a}$  および  $R^{10a}$  が、それぞれ独立して、 $C_{1-20}$  アルキルであり、 $R^{1b}$ 、 $R^{2b}$ 、 $R^{3b}$ 、 $R^{6b}$ 、 $R^{7b}$  および  $R^{8b}$  が  $C_{1-20}$  アルキルであり、且つ  $R^{4b}$ 、 $R^{5b}$ 、 $R^{9b}$  および  $R^{10b}$  は、それぞれ独立して、水素、 $C_{1-20}$  アルキルまたは $C_{5-10}$  アリールから選択され、ここで  $R^{4b}$ 、 $R^{5b}$ 、 $R^{9b}$  および  $R^{10b}$  の少なくとも 2 つが水素である、請求項 16 に記載の配合物。

## 【請求項 18】

反応性補強成分が約 1 : 10 ~ 約 1 : 100 のビニルオルガノポリシロキサン：官能化ヒドリドのモル比を有する、請求項 4 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の配合物。

## 【請求項 19】

補強要素が場合により表面処理されたマイカ、酸化亜鉛、二酸化チタン、酸化アルミニウム、粘土またはシリカからなる群から選択される、請求項 4 に記載の配合物。

## 【請求項 20】

補強要素がシリカ、または好ましくはヒュームドシリカである、請求項 19 に記載の配合物。

## 【請求項 21】

架橋成分が金属触媒、好ましくは白金カルボニルシクロビニルメチルシロキサン錯体、白金ジビニルテトラメチルジシロキサン錯体、白金シクロビニルメチルシロキサン錯体、白金オクタンアルデヒド／オクタノール錯体およびその組み合わせからなる群から選択される白金触媒を含む、請求項 1 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の配合物。

## 【請求項 22】

触媒が架橋成分の約 0.005 ~ 約 0.04% を構成する、請求項 21 に記載の配合物。

## 【請求項 23】

請求項 1 ~ 22 のいずれか 1 項に記載の配合物であって、該配合物が、

(i) 少なくとも 1 種の高粘度のビニル末端ポリジメチルシロキサンおよび少なくとも 1 種の低粘度のビニル末端ポリジメチルシロキサンならびに少なくとも 1 種のトリメチルシリキシ末端メチルヒドロシリコサン - ジメチルシリコサンコポリマーを含む、約 20% ~ 約 60% の反応性要素；および

(i i) 約 8 % ~ 約 13 % のシリカ  
を含み、ここで架橋成分が白金触媒を含む、前記配合物。

【請求項 2 4】

約 1 0 0 0 0 0 c S t のビニル末端ポリジメチルシロキサン ;  
約 1 6 5 0 0 0 c P のビニル末端ポリジメチルシロキサン ;  
アルキル末端化シリコンヒドリドポリシロキサン ; および  
白金ジビニルテトラメチルジシロキサン錯体  
を含む、皮膚に塗布するための配合物。

【請求項 2 5】

請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配合物を皮膚に塗布するステップを含むプロセスにより調製され、その結果、身体補正皮膜または身体整形皮膜が皮膚に形成される、前記身体補正皮膜または身体整形皮膜。

【請求項 2 6】

皮膜が、約 2 0 N / m 以上の皮革粘着力、約 0 . 0 1 ~ 約 1 M P a のヤング率、少なくとも約 1 5 0 % の破断歪み、約 5 % 未満のヒステレス ; 約 2 0 N / m m ~ 約 8 0 N / m m の粘着性、約 1 0 0 ミクロン未満の厚さ、約 1 ~ 約 1 5 % 未満の収縮またはその組み合せを有する、請求項 2 5 に記載の皮膜。

【請求項 2 7】

皮膜湿潤成分、浸透成分、皮膜膨張成分および皮膜剥離成分を含む、身体補正皮膜を除去する場合に使用される皮膜除去クレンザーであって、ここで皮膜湿潤成分がカプリリルメチコン、エチルトリシロキサンまたはその組み合せを含み、浸透成分がシロキサン乳化剤、カプリリルメチコン、エチルトリシロキサンまたはその組み合せを含み、皮膜膨張成分がカプリリルメチコン、エチルトリシロキサン、イソドデカンまたはその組み合せを含み、皮膜剥離成分が 1 つ以上のグリコール、水またはその組み合せを含む、前記クレンザー。

【請求項 2 8】

クレンザーがシロキサン相、乳化剤システムおよび水性相を含む請求項 2 7 に記載のクレンザーであって、シロキサン相がカプリリルメチコン、イソドデカンおよびエチルトリシロキサンを含み、乳化剤相がシロキサン乳化剤を含み、水性相が水、プロピレングリコール、ブチレンジグリコール、グリセロールまたはその組み合せを含む、前記クレンザー。

【請求項 2 9】

単独でパッケージングされる反応性補強成分であって、ビニル末端ジフェニルシロキサン - ジメチルシロキサンコポリマー、ビニル末端ポリフェニルメチルシロキサン、およびビニルフェニルメチル末端ビニルフェニルシロキサン - フェニルメチルシロキサンコポリマーまたはその組み合せから選択される少なくとも 1 種のオルガノポリシロキサンを含む、前記反応性補強成分。

【請求項 3 0】

少なくとも 1 種の顔料ならびに、ビニル末端ジフェニルシロキサン - ジメチルシロキサンコポリマー、ビニル末端ポリフェニルメチルシロキサン、およびビニルフェニルメチル末端ビニルフェニルシロキサン - フェニルメチルシロキサンコポリマーまたはその組み合せから選択される少なくとも 1 種のオルガノポリシロキサンを含む、顔料拡散配合物。

【請求項 3 1】

オルガノポリシロキサンが、約 5 0 0 ~ 約 5 0 0 0 0 c S t の粘度を有する低粘度のオルガノポリシロキサンである、請求項 2 9 に記載の反応性補強成分または請求項 3 0 に記載の顔料拡散配合物。